

ユニセフ兵庫ニュース

# Wish

世界の子どもたちのために

vol. **71**

2023年9月号



撮影：玉本英子

ウクライナ各地でミサイル攻撃が絶えない。恐怖におびえ、心に傷を負う子どもたちが増えている。ぬいぐるみを使ったトラウマケアを受けるマーシャちゃん。(2022年7月・ウクライナ南部オデーサ)

## CONTENTS

- SPECIAL INTERVIEW**  
2-3 **ユニセフから始める一歩**
- EVENT REPORT**  
4-5 **ユニセフ写真パネル展**

- 6-7 **活動ファイル**  
2023年4月～8月
- 8 **お知らせ**

兵庫県ユニセフ協会には学生によるボランティアグループ「ユニーズ」があり、ユニセフの活動を通して学び合い語り合い、自分が見つけた道を歩みだす若者たちがいます。今回は新たにユニーズに加わった二人の若者に今の思いを聞きました。また、ユニーズメンバーの二人がこれからの活動への意気込みを寄せてくれました。

## SPECIAL INTERVIEW

# ユニセフから始める一歩



座談会の様子。左から福井沙織さん(ユニーズ OG)、川村真琴さん(大学生)、坂爪美紀さん(高校生)。聞き手は福井沙織さん(ユニーズ OG、兵庫県ユニセフ協会主催スタディツアーやルワンダでのホームステイを経験。休職し JICA 青年海外協力隊としてベナン共和国に派遣され帰国後は復職)

**ボランティアに参加したきっかけは？**

**川村** もともとユニセフの活動に興味がありました。自分から動けなかった時に、このHPを見て知りました。私は人助けも好き子どもも好きなので、人助けをしつつ子どものために何かできることはないかなと思ってきました。

**坂爪** 高校の探求学習でSDGsを調べる時間があって、目標の4番の「質の高い教育をみんなに」という項目に心をひかれて色々調べていって、発展途上国の経済や教育の不等等を知って、何かできることはないかと思いました。自分は日本に住み、やろうと思えばやってみることができる環境にいます。今の環境を活かして、厳しい環境にいる子どもたちにできることはないかと思い、まずはボランティアで実践を積んでいこうと思いました。近場のボランティア活動を調べていくうちに兵庫県ユニセフ協会にたどり着いて学生ボランティアのあることを知りました。

**ボランティア連絡会に参加してどのような印象を持ちましたか？**

**川村** 講演会や学習会など毎月いろんなことをやっていて、こんなにも子どもたちのために貢献できることがあるんだと思いました。

**坂爪** ボランティア連絡会でチームの報告を聞いて、日本の子どもたちへの学習会や、アフリカの現

状などを聞く講演会もあり、たくさんの方が集まっていた皆さんの知識をもらえる点が素敵だなと思いました。

**福井** ここは一般的なボランティアのイメージとは違いますね。ネットで調べたらたまたまヒットした所ですが、なかなか出会えない場所ですね。

**ここでの活動で、どんなことをしてみたいですか？**

**川村** 自分たちが生活している中で、ユニセフの活動に参加する人少ない人がいるので、トライやる・ウィークなどで自分の地元の子どもたちに伝えていきたいです。また、留学先のホームステイでお世話になった人からフィリピンの厳しい現状を聞いたので行ってみたいと思っています。

**坂爪** 私は現地に行っていて、いっぱい学んで、帰った後に日本で伝える人になりたいです。アフリカに興味があり、今はルワンダに興味があります。もともと音楽が好きなんです。アフリカの音楽は日本の音楽とはいろいろ違うところがあり、もっと知りたいと思います。

**福井** アフリカの音楽はぜひ味わってほしいですね。ルワンダには日本人の受け入れ事業もしている方がいて、宿泊費込みで1週間5万円くらい払えば、現地のいろいろな体験ができます。

**自分自身の目標のようなものはありますか？**

# FROM UNIES

ユニーズより



入道 優さん (大学生・写真左)

高校3年の夏休み、私が住んでいるコミュニティに自分なりに貢献したいと考えていたところ、インターネットで兵庫県ユニセフ協会に出会うことができました。兵庫ユニセフのスタッフの方々に優しく、あたたかく接していただいたこともあり、ボランティアになりました。ユニセフはいろんな経験をする機会を得ることができる場です。例えば、昨年私は兵庫ユニセフの支援でケニアのマゴソスクールの資金調達活動を行いました。日本とケニアの学生と共にオンライン上で半年間にわたりコラボレートする貴重な機会を得ることができました。また、ユニセフのミッションは「すべての子どもの権利が実現される世界をめざして」であり、私もこの目的達成を常に意識してユニセフで活動しています。

現在、ユニーズとして月に1回程度、興味のあるユニセフの活動や社会問題についての勉強会をメンバーと開催したり、ユニセフの国際講座に参加したりしています。勉強会でメンバーとで話し合うことで視野を広げたり、テーマを深掘りしたりでき、やりがいを感じるとともに、自らの成長を実感できます。ユニーズのメンバーは数人であるため、同世代の仲間を増やしたいと考えています。まずはユニーズの認知度を上げるための取り組みを行うことを計画しています。具体的には、ユニーズのインスタグラムアカウントを開設し、日々の活動を発信したり、勉強会、国際講座で学んだことや感想を共有したりすることで、フォロワーを増やしたいと考えています。

是繁 花帆さん (大学生・写真右)

ユニセフを知り、ボランティアになったきっかけは、12月に行われた玉本英子さんのウクライナの講演会を聞きにいった時に兵庫県ユニセフ協会を紹介していただいたからです。高校生の時からボランティア活動をしたいと考えており、入会しました。

また、ユニセフでは様々な勉強会に参加し、学びを深めることやボランティアでアクティビティに参加したいと思っています。

Welcome!

## ユニーズ メンバー募集中

世界の子どもたちのために何かをしたいと思っている若者のあなた、何かを探したいと思っている学生のみなさん、兵庫県ユニセフ協会の高校生から大学生が中心のボランティアグループ「ユニーズ」には、若い情熱と発想で行動していく仲間がいます。一緒に活動して仲間を何かを見つけませんか!!

**川村** 大学で映画研究をしていて、将来は映像で何かメッセージを表現できたらと思っています。またユニセフに直接するかどうかは分からないんですが、人に相談されることが多く、話を聞くのも好きなので、誰にも相談相手がいない人の相談相手になれる、そういうボランティアをしたいです。

**坂爪** 私はさっき話した通りアフリカや開発途上国へ行って、教育に関わることで働けたらと思っています。大学は国際系の方に進み、各国の情勢とかも学びたいです。教師免許も取れる学科に行きたいと思っています。

**同世代の人でボランティアをしている人はいますか？**

**川村** 自分の周りには見かけたことがありません。国際系の学生だったら違うかもしれないですが、友達を何人が誘っていきませんが、思いがあっても行動に移してくれない人が少ないという感じでした。楽しいっていうのがすごく期待される。

**福井** ボランティアというイメージがするのじゃないかな。楽しいのは大事ですね。ここは個人で来て、気づけば仲間という感じですね。今日は来ていませんが、入道さんと是繁さんという大学生がいます。活発で何かやりたいと言っている人たちなんです。会ってもらえたらなと思っています。

**ユニセフに限らず、今気になっていることはありますか？**

**川村** ウクライナの女性のことで。現地に行った方の体験談を聞いたり、ツイッターで調べますね。

**坂爪** フランスにはベトナム系ショップもあり、殺処分も多いんです。飼うならちゃんと責任をもって飼うという仕組みを取り入れたらいいのと思っています。

**何か聞きたいことはありますか？**

**川村** 海外へ行くときは、どのような準備をして行かれますか？

**福井** どこに行くかにもよります

が、一番大事なことは安全面への備え、事前に現地の人とコンタクトをとっておくことが大事です。JICAの協力隊では、しっかりしたサポートがありました。厳しいですし、いろいろな制約もありますが、そこから色々を学びながら準備ができました。親御さんを説得し安全を確保した上で行くことが大事ですね。

きません。2年間一緒に現地の人と活動するというミッションがあるので、現地のことをよく知りたいということになると語学力もある程度必要ですね。ただ、旅行とかでちょっと行くぐらいなら最低限自分が困らない程度にしゃべれたらいいのかもしれない。語学は無理だからちょっと、というのはもったいないと思います。そこは思い切って行ってみたいところがあるんじゃないかな。社会人になると時間が無くなるので、行きたいところがあれば旅行でもいいから行ってほしいです。

**坂爪** 現地に行く時、言語はある程度鍛えてから行った方がいいですか？

**福井** 現地にとれくらい滞在し、何をしたいかによると思います。JICAの協力隊として行く場合には、行く前に75日間の語学研修があり、一応合格しないと参加できません。

6月24日(土) 兵庫県ユニセフ協会事務所にて

## ユニセフ写真パネル展

## ウクライナの危機と子どもたち

## EVENT REPORT



ミサイル攻撃で、亡くなった同級生の遺影に花とぬいぐるみを持ち寄っていた。(2023年5月・ウクライナ中部ウマニ) 撮影:玉本英子

## Data イベントデータ

期間 8月1日(火)～10日(木)  
 会場 コープこうべ生活文化センター1階ロビー・2階フロア  
 (神戸市東灘区)  
 協力 玉本英子さん・大阪ユニセフ協会

玉本英子さんによる最新のウクライナ取材写真のパネルと大阪ユニセフ協会作成のウクライナと周辺国でのユニセフの活動を紹介する写真パネルを展示しました。初日には玉本さんのギャラリートークも行われました。



ミサイルで破壊されたアパートの部屋に立つリュドミラさん。4歳の息子と共にがれきりの中から助け出された。「なぜ市民が狙われるのか」と顔を歪ませた。妊娠9か月だったがおなかの子どもは無事だった。(2022年7月・ウクライナ南部セルヒーウカ) 撮影:玉本英子



ウクライナの若者たちに人気なのが日本のアニメやマンガ。「戦争で暗うつになっている心を癒し、希望や勇気を与えてくれる」とアニメショップの店員は話す。「アリガトウ」と日本語で言ってくれた。(2023年6月・ウクライナ南部オデーサ) 撮影:アジアプレス



学校でのダンス発表会で、伝統衣装ヴィシフアンカを着た児童。刺繍が美しい。頭には花飾リヴィノク。笑顔がかわいい子どもたちだが、つねに戦争と隣り合わせの日常がある。(2023年5月・ウクライナ南部オデーサ) 撮影:玉本英子

## 玉本さんからのメッセージ

ロシア軍のウクライナ侵攻から1年以上が経ちました。いまま市民の犠牲が相次いでいます。ミサイルが炸裂して崩れ落ちた集合住宅。激しい砲撃で破壊された村。子どもや高齢者、たくさんの命が奪われてきました。人生が突然にして断ち切られた現場を取材し、胸が痛みました。一方で、戦火のなかでも日常を取り戻そうとする若者たちにも出会いました。日本のアニメ・マンガを心の支えにするコスプレ少女や、韓国K-POPファンでダンスを続ける女性たち。戦争と隣り合わせの中、心強くあろうとする市民の姿も見つめました。この戦争の現実を知るとともに、私たちと同じ時代を生きる人びとに思いを寄せただければと思います。ウクライナに平和が訪れる日が来ることを願っています。



撮影:アジアプレス

## 玉本 英子さん

映像ジャーナリスト(アジアプレス)。イラク、トルコ、シリアなど中東地域のほか、アフガニスタン、ミャンマー、ウクライナなどを取材。テレビ報道番組などでも報告。戦火に苦しむ女性や子どもの視点に立った一貫した姿勢が評価され、第54回ギャラクシー賞報道活動部門優秀賞、第26回坂田記念ジャーナリスト賞特別賞受賞。

玉本さんは映像による取材を主にしながら、一眼レフでも写真を撮ってきました。今回は、昨年夏と今年5〜6月に撮影された30枚を超える写真の前で、それらの背景を語ってもらいました。

「カスピ海付近から空中発射されたロシア軍の巡航ミサイルが、中部ウマニの住宅地にある集合住宅に打ち込まれたのは午前4時。自宅にいた23人が犠牲になりました。友達の死を悼む子どもたちはその時のことをよく覚えていて、あの瞬間に友達が亡くなったこと大きなショックを受けていました。元は同じ国だったウクライナとロシア。両国に親族のいる人がたくさんおり、切り捨てられない現実があります。戦争とは割り切れるものではなく、双方で多くの人が亡くなりそれを悲しむ家族や友人がいるのです。話をしてくれた10代の若者たちの願いは「ただ普通の生活がしたいだけ」。私のような経験をしてほしくない」ということでした。韓国のアイドルを心の支えにして日常を続けることと侵攻への抵抗の意志を示している若者は「戦争は始まらないことが大事」という言葉を玉本さんに託しました。



## ウクライナの子どもたちへ ユニセフの取り組み

2022年2月24日に武力紛争が激化したウクライナでは、わずか数か月間で急激に国土が荒廃し、子どもの3人に2人が家を失いました。国内外で約800万人の子どもたちが子どもとしての時間を奪われ、今なお暴力・トラウマ・喪失感・避難の苦しみに耐え支援を必要としています。22年の秋以降は国内の発電所の4割が破壊されるなど、命を支える最低限のインフラサービスも利用できなくなっています。また23年6月には南部ヘルソン州のダム決壊に伴い、大規模な洪水が発生しました。戦闘による避難に加え、洪水により2度目の避難を余儀なくされている子どもたちもいます。

- 1 国境検問所近くのブルドットで、避難してきた親子と話す地元NGOの児童心理学者。(2022年・モルドバ)
- 2 ハリコフのサポートスペースで子どもたちと遊ぶ地元ボランティア。(2022年・ウクライナ)
- 3 ウクライナから国境を越え避難してきた人々に届いた4トンの衛生用品。(2022年・モルドバ)



© UNICEF/UN0608572/Modola



© UNICEF/UN0615950/Yakimenko



© UNICEF/UN060598145/Velizar

### 支援拠点

ユニセフでは訓練を受けたスタッフと専門家が移動式チームを組んで、支援拠点や立ち入りが制限されている地域へも支援を届けています。支援は複数の機関が協力して包括的に行い、必要とされる法的支援や専門的保健サービスにつないでいます。

#### 1 Blue Dots ブルドット

© UNICEF Moldova  
Blue Dot, Moldova, Palanca\_1

ウクライナとの国境に近いモルドバ東部パランカのブルドット。(2022年・モルドバ)

ユニセフとUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)が現地当局やパートナーと共に、難民受け入れ国と目的地までの移動ルート沿いの国境地帯に設置した、子どもと家族のための支援施設。重要な情報が提供され、大人が移動の準備をする間、子どもたちが自由に過ごせる場所である。同伴者のいない子どもは特定と登録を行い、適切な保護サービスにつなげている。40を超える拠点が設置され、スマートフォンなどでアクセスできる情報ネットワークも強化している。

#### 2 Spilno Child Spot スピルノ・チャイルド・スポット



© UNICEF/UN0781865/Khramenko

新しく完成したユニセフのスピルノ・チャイルド・スポットで遊ぶ子どもたち。(2023年・ウクライナ)

ウクライナ国内でユニセフが設置した子どもたちが安心して過ごせる場所。「スピルノ」とはウクライナの言葉で「一緒に」という意味。ここでは水や衛生用品・検診など保健サービス、メンタルヘルスや社会心理的支援、学習やレクリエーション、個々の状況に応じた専門的支援などが提供されている。300以上のスポットが多くの駅などに設置されている。

### 支援内容

- ・救命用の保健・医療物資の提供
- ・十分な量の安全な水を利用できるように支援
- ・メンタルヘルス・心理社会的支援
- ・教育支援(正規・非正規・オンライン学習・就学前教育など)
- ・栄養相談
- ・人道支援の一環として多目的な現金給付を世帯ごとに実施
- ・難民受入国における緊急援助・医療支援サービス・教育へのアクセス支援
- ・ジェンダーに基づく暴力への予防・対処、保健・社会・司法の専門的支援
- ・家族や養育者と離ればなれになった子どもや特別な支援を必要とする子どもなどに対する個別事例への対応

2023年も、ユニセフはスピルノ・チャイルド・スポットやブルドットを通じて、様々な支援を提供し続けます。技術・政策・行政の各機関との連携を継続し、国や地方、さらには国境を越えた保護システムを強化します。ウクライナ出身の保健員や心理士、教育専門家にも可能な限り継続的に参加してもらいます。また、最前線のスタッフに対し、ジェンダーに基づく暴力からの保護やインクルーシブ教育など、子どもの保護に関する訓練や情報を提供していきます。

### ウクライナ緊急募金へのご支援をよろしくお願ひいたします

郵便局(ゆうちょ銀行)  
振替口座:00190-5-31000  
口座名義:(公財)日本ユニセフ協会

\*通信欄に「ウクライナ」と明記願ひます。振込方法など詳しくは8ページをご覧ください。



## 1 トライやる・ウィーク

日時 5月29日(月)～6月1日(木)  
 参加者 神戸市立本庄中学校 むらかみしづき 村上志月さん もとざきめいさ 本咲明咲さん  
いのうえたつや 井上達也さん

世界の子どもたちや支援活動に興味を持つ中学2年生が、トライやる・ウィークで兵庫県ユニセフ協会にやってきました。



ボランティアからユニセフの活動について話を聞いたり、外貨コインの仕分け作業などをし、ユニセフについて理解を深めました。

## 2 ユニセフ全国協定地域組織学習講師研修会

日時 6月30日(金)  
 会場 ユニセフハウス(東京都港区) / オンライン

(公財)日本ユニセフ協会がユニセフの事業に関する「広報・啓発活動」の一環として毎年開催している研修会に、オンライン参加も含み全国から約100人が参加し、モデル授業や意見交換を行いました。ユニセフ学習講師として活動するボランティアが、ユニセフの基礎とSDGsや子どもの権利をどのように教えるかなどを学ぶ貴重な機会になりました。

## from Volunteers

### ユニセフ学習講師研修会に参加して



兵庫県ユニセフ協会のボランティアとして活動し始めてまだ間もない私ですが、出前講座にも以前から興味があるということで今回の研修会に誘っていただきました。研修会では小学生や中学生を対象としたモデル授業として、紛争・気候変動や感染症によって引き起こされる子どもたちの栄養失調など、さまざまな問題が繋がってわたしたちの未来にも影響があること、SDGsを通して子どもの権利の実現とどのように結びつくのかといった伝え方を学びました。講師の方のモデル授業の進行の仕方や話し方、また、他府県での出前講座の教材や授業の工夫方法などご紹介いただき、ユニセフの活動についても改めて理解が深まる研修でした。今回の学びを活かし、今後の出前講座にも講師として参加していきたいと思えます。(平井彩花)

## Activities File 活動ファイル

兵庫県ユニセフ協会の活動履歴

2023年4月～8月

活 動 一 覧

Activities List

開催方法 (O)…オンライン (H)…ハイブリッド(会場/オンライン)

### 学習会一覧

月日	訪問先	対象	人数
6月9日	甲東園コープ委員会	大人	16
6月9日	高槻東コープ委員会	大人	8
6月12日	神吉コープ委員会	大人	17
6月12日	甲南コープ委員会	大人	5
6月13日	須磨コープ委員会	大人	15
6月22日	神戸学院大学附属中学校	3年生	67
7月3日	朝霧コープ委員会	大人	18
7月4日	稲美コープ委員会	大人	14
7月10日	大久保コープ委員会	大人	15
7月19日	阪神友愛食品(株)	大人	48
8月24日	コープ魚住子育てひろば	幼・小学生	22

### 地域活動一覧

\*ブース出展

月日	イベント名
6月10日	2023国際理解講座②「地域のおかあさんが笑顔で暮らせる社会を創る」
6月22日	2023国際理解講座番外編「ジブチ前駐日大使のお話を(H)聴く会」
8月1-10日	ユニセフ写真パネル展「ウクライナの危機と子どもたち」
8月19日	平和講演会「111年の時を超えて」
8月30日	コープこうべ第6地区平和のつどい「地球のステージ」*(加古川市)

トライやる受入 5/29～6/2 神戸市立本庄中学校 2年3人  
 (6/2は台風のため中止)

インターン生受入 8/1～9/8のうち5日間 大手前大学 3年生2人

### 募金一覧

2023年3月～6月

学校・団体名
生活協同組合コープこうべ、(私)市川高等学校、伊藤ハム(株)、神戸市立鷹取中学校、コープサークルやんだくない、横尾健康地蔵尊守の会、三宅啓介、石光商事(株)、南武庫之荘中学生徒会、ティンカーベル、B.L出版(株)、ボーイスカウト姫路第16団・18団、ボーイスカウト神戸第55団、神戸市交通労働組合車両支部、神戸市立太山寺小学校、兵庫県児童保育連絡協議会
ご協力ありがとうございました。(兵庫県ユニセフ協会関係分 敬称略、順不同)

## 3 2023 国際理解講座

4月、6月に国際理解講座①②が行われました。お二人は、社会に貢献しながら収益を上げ社会に還元する事業「ソーシャルビジネス」を活動の中に取り入れ、持続可能な支援を行っています。

### 2023 国際理解講座①

## 想いをカタチに 未来をつむぐ

日時 4月29日(土・祝)  
会場 神戸学生青年センター(神戸市灘区)  
参加者 30人

カラーバス  
NPO法人 Colorbath は、ネパール・マラウィ・日本の3カ国で、教育からソーシャルビジネスまで幅広い事業を現地の人と共に企業と連携し進めています。代表の吉川さんは、サッカー少年だった中学3年生の時、ブラジル合宿中に骨折し生命に関わる病気も見つけ、絶望の淵を経験しました。一方スラム街には、やりたい事も分からないやりたい事もできない子どもたちがいて、世界の不平等を目の当たりにしました。知らない世界を知り、残された命を誰か



吉川 雄介さん

NPO法人 Colorbath 代表理事、株式会社カラーバス 代表取締役。  
早稲田大学国際教養学部、米国Portland State Universityにて文化人類学を専攻。世界経済フォーラム(ダボス会議)社会起業家 Global Shapers 選出。ビル・ゲイツ財団 2021 Vision Hacker Award 大賞受賞。関西学院大学非常勤講師。

のために使うという思いが絶望から希望へ一歩踏み出すきっかけになりました。

後にベネッセに就職し社外活動としてネパールでの教育支援を行っていましたが、もっとしっかり支援を行うために退社。そして、NPO法人 Colorbath に続き、支援活動をビジネスとして充実させるために株式会社カラーバスを設立しました。カラーバスという言葉は心理学用語で「ものの見方をひろげる」という意味です。

日本の学校とネパールやマラウィの子どもたちがオンライン交流することで世界がつながり自分自身の見える世界を広げています。ネパールでの教育支援では今年から公文書の教育が学校で導入されるようになりました。

ソーラーボイラー事業では、日本人技術者とつながり、マラウィの人たちの協力によって太陽光で湯を沸かす装置を造っています。それにより医療では滅菌消毒など、家庭では薪の使用を減らすことができます。環境保全にもつながる持続可能な活動です。ネパールでのコーヒー豆栽培では、現地の農業経験のある人たちを支援するソーシャルビジネスに取り組み、現地のNGOやコーヒー会社などと連携し日本でも販売しています。

いろんな人とつながっていくと、個人の活動が社会の活動になります。自分たちの一歩ずつの行動こそが未来を作ります。これがColorbathのミッション「想いをカタチに 未来につむぐ」です。

### 2023 国際理解講座②

## 地域のおかあさんが笑顔で暮らせる社会を創る

日時 2023年6月10日(土)  
会場 兵庫県民会館(神戸市中央区)  
参加者 40人

山田さんは大学3年生の時に、半年かけてケニアから南アフリカまでの5,000kmを日本人女性初単独自転車縦断しました。さらに世界中を自転車で走り、2年半の出版社勤務の後サイクリストとして独立、サイクルツーリズムの振興活動を行ないました。結婚・出産後もやりたいことを諦めないためにその都度環境を変え、2016年からは家族(夫と子ども3人)でルワンダに住んでいます。

ルワンダでは当初、高級日本食店を経営していましたが、そこでアフリカの不平等をリアルに感じ、シングルマザーの従業員たちに無理をさせていたことから閉店。そして「地域のおかあさんが笑顔で暮らせる社会を創る」というビジョンのもと、お金も教育も経験もないおかあさんたちのそのままを価値として生かすソーシャルビジネス KISEKI を始めました。今は年間100人を超える日本からのボランティア・インターンプログラムの参加費を主な資金源として、幅広い事業を行っています。

まず人生最初の不平等を解決するための「The First 1000days\*」

プロジェクトでは、地域の健康保健師を雇い妊産婦の心身のケアや栄養指導をしています。そして母親には職業訓練や福利厚生を整った雇用を提供し、子ども(乳幼児)には託児所・子ども食堂・幼稚園をつくって食事・遊びを通じた学び・活字に触れる環境やICT教育などを提供しています。いずれも地元の世界システムをうまく利用しながら協力者を得て経営できています。

「世界は大きいけどあなたの世界は小さくない。手が届くところから丁寧に諦めず小さな違いを作っていくと世界は変えられる。あなたの世界はどこですか?その世界であなたのできることは何ですか?」と山田さんは参加者に問いかけました。

\*The First 1000 days 胎内にいる時から2歳の誕生日までの「人生最初の1000日」に適切な栄養とケアを受けられれば子どもの命や成長が守られる、という考え方。ユニセフも必要な取り組みの支援をしている。

山田 美緒さん

KISEKI Ltd CEO、(一社)コグウェイ創設者・代表理事。  
大阪外国語大学(現大阪大学)外国語学部アフリカ地域文化学科卒業。サイクルツーリズムの活動が評価され出身地の池田市観光大使や高知県観光大使、エトリア共和国観光親善大使に任命。著書「マンガーと丸坊主」(幻冬舎)「満点バイク」(木楽舎)など。



## ユニセフ募金 Donations For Unicef

### ■ 通常募金

通信欄記載事項	振替口座	手数料
K1-280 兵庫	00190-5-31000	免除

### ■ 緊急・復興募金

	通信欄記載事項	振替口座
ロヒンギャ難民	ロヒンギャ K1-280 兵庫	00190-5-31000
シリア	シリア K1-280 兵庫	00190-5-31000
アフリカ栄養危機	アフリカ K1-280 兵庫	00190-5-31000
自然災害	自然災害 K1-280 兵庫	00190-5-31000
人道危機	人道危機 K1-280 兵庫	00190-5-31000
ウクライナ	ウクライナ K1-280 兵庫	00190-5-31000

\*共通口座名義：公益財団法人 日本ユニセフ協会  
 \*郵便局窓口から専用振込用紙を使って振り込むと手数料は免除されます。専用振込用紙は事務局にありますのでご連絡ください。  
 \*トルコ・シリア地震は、「自然災害」緊急支援募金で、スーダン「人道危機」緊急支援募金で受け付けています。



いつでも  
どこでも  
気軽に募金

<https://www.unicef.or.jp/sp/>

# Wish<sup>vol.71</sup>

ユニセフ兵庫ニュース Wish

2023年9月発行

発行：兵庫県ユニセフ協会

住所：〒658-0081

神戸市東灘区田中町 5-3-18  
 コープこうべ生活文化センター 2F

電話：078-435-1605 (平日 10:00 ~ 16:00)

FAX：078-451-9830

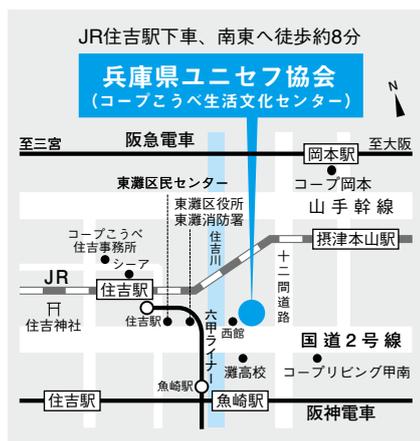
E-Mail：h-unicef@kobe.coop.or.jp

●最新の情報はホームページで

<https://office-bit.com/unicef-hyogo/>

兵庫 ユニセフ

検索



## Join Us 主催イベント

### ユニセフセミナー

## 「教育」から考える 国際協力と支援の道

～若者たちとこれからの国際教育～

**日時** 10月9日(月・祝) 10:00～13:30

**会場** 上智大学大阪サテライトキャンパス

**定員** 80人

**主催** 上智大学大阪サテライトキャンパス  
 兵庫県ユニセフ協会

**後援** 大阪ユニセフ協会

### 講演「アフリカのスラムに学校を作る～子どもたちの笑顔、命の輝き～」

**講師** 早川千晶さん  
 (マゴソスクール主宰)



### 活動報告「六甲学院中学・高等学校 社会奉仕活動報告」

**発表者** 六甲学院中学・高等学校社会奉仕委員会

### 講演「東ティモール教育研究から考える国際支援」

**講師** 須藤玲さん  
 (東京大学大学院教育学研究科)



各日程は変更になることがあります。  
 詳細はホームページをご覧ください。

参加費  
無料

## 2023 国際理解講座③④

※この講座は、公益信託兵庫婦人会館ユネスコ基金からの助成を受けて実施します。

### ③「いま、日本が問われていること」

**日時** 11月4日(土) 13:30-15:00

**会場** コープこうべ生活文化センターホール

**講師** 大津司郎さん(アフリカジャーナリスト)  
 甲斐信好さん(拓殖大学副学長)

**定員** 100人

### ④「戦火の中の女性と子どもたち～ウクライナ、イラクの現場から」

**日時** 11月25日(土) 13:30-15:00

**会場** 神戸市教育会館

**講師** 玉本英子さん(アジアプレス所属ジャーナリスト)



**定員** 80人

## ユニセフ写真パネル展

### 「アフリカの子どもたち」

**日時** 10月2日(月)午後～13日(金)

**会場** コープこうべ生活文化センター

### 「ウクライナの危機と子どもたち」

**日時** 11月15日(水)～22日(水)

**会場** コープテイズ豊岡

最終日に玉本さんのギャラリートークを予定

参加申込みはホームページ上の  
 申込みフォームでも受け付けています。

お問い合わせ  
**TEL 078-435-1605**

## News お知らせ

### 森のフェスタ 2023 ライブイベント「アフリカの鼓動」

**日時** 10月8日(日) 12:00-13:00

**会場** 尼崎の森中央緑地パークセンター

**出演** 早川千晶さん(マゴソスクール主宰)  
 大西匡哉さん(ケニア伝統太鼓奏者)

**主催** 尼崎の森中央緑地パークセンター

**共催** 兵庫県ユニセフ協会

**協力** フジトランスポート(株)

※この公演は、(公財)兵庫国際交流協会の民間国際交流事業助成制度による助成を受けて実施します。

### 第45回ハンド・イン・ハンド募金活動

11月または12月に街頭募金活動を予定しています。ぜひご参加ください。

### 第21回ユニセフのつどい

**日時** 2024年3月2日(土)

ユニセフのつどいは、兵庫県ユニセフ協会のお祭りです。どうぞご予定ください。

## Booth 出展参加

10月1日(日)	うみかぜ音楽祭(舞子公園)
10月21日(土)	姫路市医師会看護専門学校文化祭
10月9日(月・祝)	地球のステージ(豊中市立刀根山小学校)
11月29日(水)	地球のステージ(神戸市立向洋中学校)



### ユニセフ ひょうご サポーター

**賛助会員募集中**  
 賛助会員となって、兵庫県ユニセフ協会の活動を支えてください。お申し込み、お問い合わせは事務局までお願いいたします。

ユニセフひょうごサポーター  
**入会申込書**

unicef